

タイミーを通じた勤務をきっかけとした 長期就業・長期採用に関する実態調査

01 はじめに

はじめに

＜本レポートの目的＞

スポットワークは、手軽さから自分に合った職場を見つける手段として働き手に利用される一方、事業者にとっても効率的な人材採用の方法として注目されている。2023年に行った前回調査では、働き手の7割以上、事業者の9割以上がスポットワークを通じた長期的な雇用を望んでいることがわかった。前回調査から1年以上が経過した現在、働き手と事業者の間でスポットワークを通じた長期雇用に対する考え方がどのように変化したのか、その実態を改めて明らかにするために実施した調査（※）の結果をまとめたものである。

※ 「[タイミーを通じた勤務をきっかけとした長期就業・長期採用に関する実態調査（2025年版）](#)」

＜調査概要＞

【働き手向け調査】

調査名：タイミーを通じた長期就業に関するアンケート
調査期間：2025年7月11日～7月18日
調査対象：「タイミー」に登録している働き手 3,928名
エリア：47都道府県
調査方法：インターネット

【事業者向け調査】

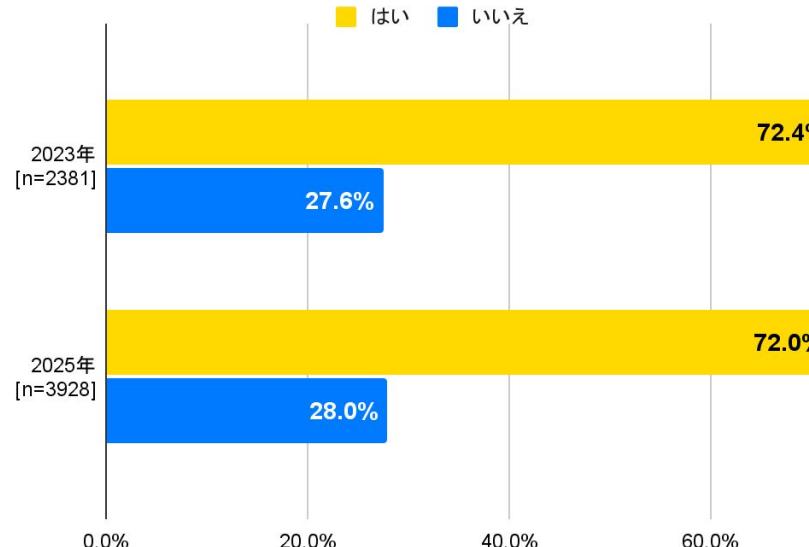
調査名：タイミーを通じた長期採用に関するアンケート
調査期間：2025年7月14日～7月18日
調査対象：「タイミー」導入事業者 1,216社
エリア：47都道府県
調査方法：インターネット

02 働き手（ワーカー）向け調査

長期就業への意向

- タイミーを通じて良い職場と出会えたら、そのままその職場に長期就業したいと考えている働き手は72.0%。前回調査の結果（72.4%）と同水準であった。

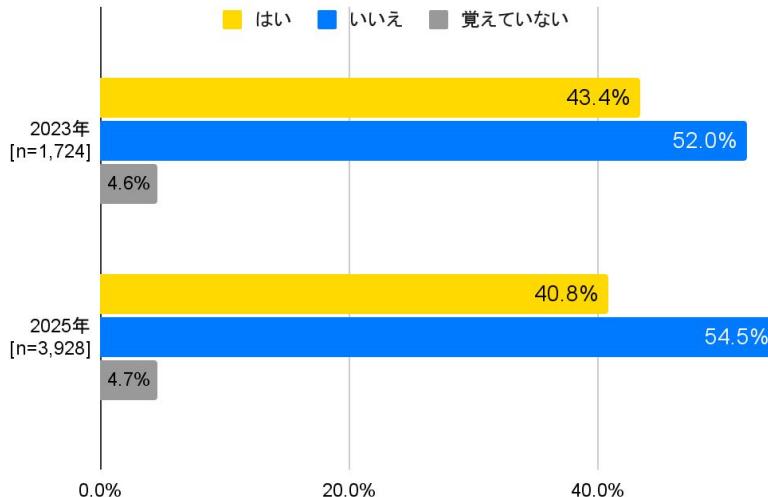
タイミングでマッチングした仕事を通じて良い職場と出会えたら、
長期就業したいと思いますか／思ったことはありますか？



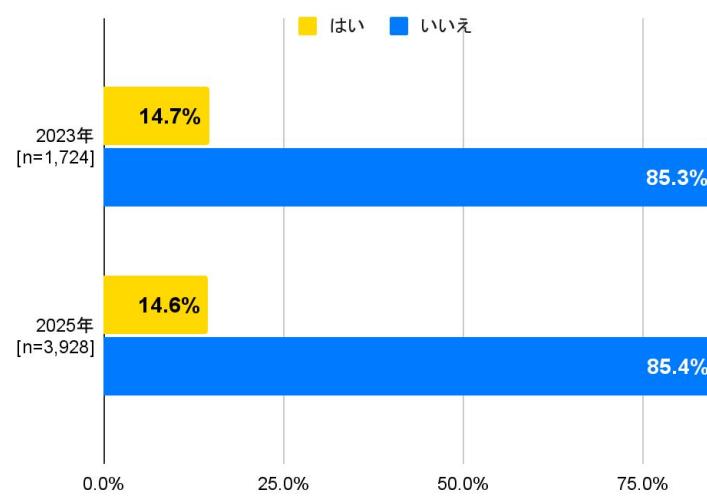
長期就業の実態

- タイミーでマッチングした勤務先で長期就業の打診をされたことがある人は全体の40.8%。
- さらに実際に長期就業をしたことがある人は全体の14.6%で、前回調査の結果（14.7%）と同水準だった。

タイミングでマッチングした勤務先で
長期就業の打診をされたことはありますか？



タイミングでの勤務をきっかけに
長期就業をしたことがありますか？



キャリアの選択肢が増加

- ・ タイミーを通じて長期就業に至った人を対象に、長期就業前後の雇用形態を見ると、長期就業をきっかけにキャリアの幅を広げている人が一定数いることがわかった。

タイミングを通じた長期就業前後の雇用形態の移り変わり

[n=574]

		タイミングを通じて長期就業した雇用形態						
		正社員	契約社員	派遣社員:長期 [3ヶ月以上]	派遣社員:短期 [1~2ヶ月]	パート・ アルバイト	業務委託	その他
直前の雇用形態	正社員	13	1	2	0	62	3	7
	契約社員	0	6	0	0	20	0	0
	派遣社員:長期 [3ヶ月以上]	0	2	1	1	22	0	1
	派遣社員:短期 [1~2ヶ月]	0	0	0		3	0	0
	パート・ アルバイト	5	4	2	1	216	1	3
	スポットワーク	2	2	1	2	127	3	7
	業務委託	0	0	0		11	5	0
	その他	2	0	1	1	21	2	11

キャリアの選択肢が増加

- タイミングを通じて長期就業をする前後の業種の変化を見てみると、同職種間でのキャリアのステップを実現しているケースが多い中、軽作業から販売や飲食、配送・運転から軽作業と職種チェンジをしているケースも一定数あった。

タイミングを通じた長期就業前後の業種の移り変わり

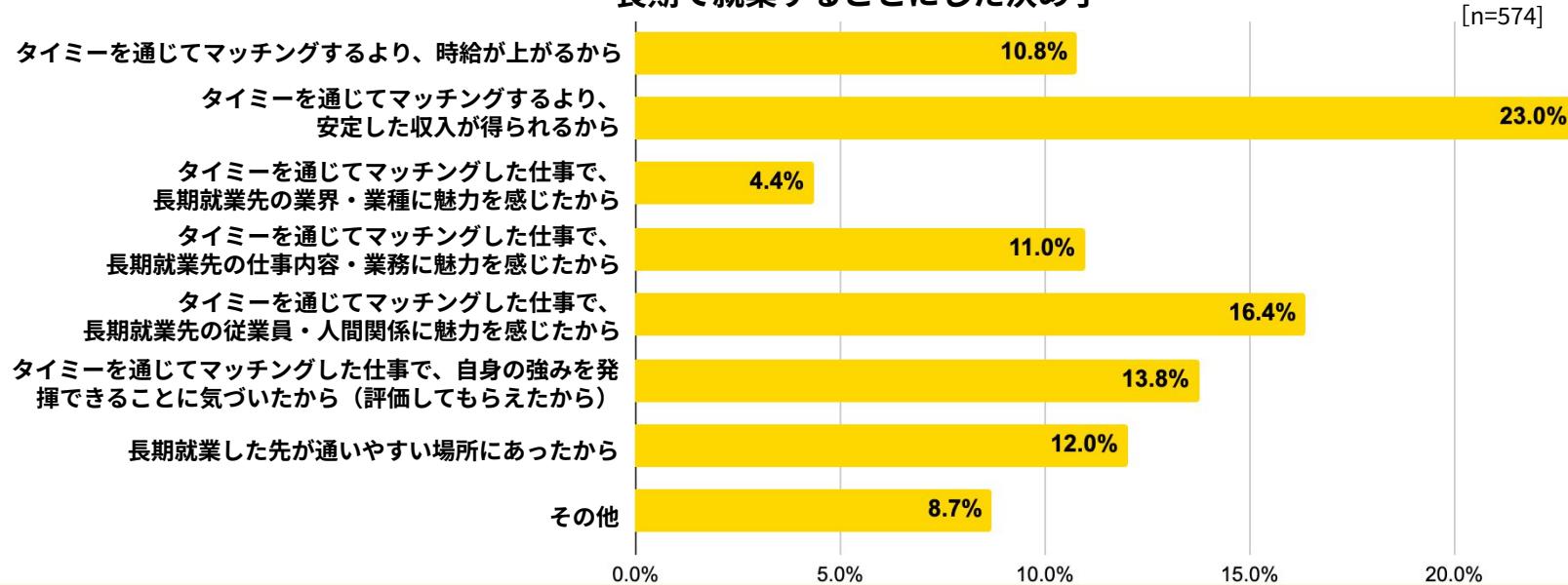
[n=574]

		タイミングを通じて長期就業したお仕事(複数選択)												
		軽作業	配達・運転	販売	飲食	オフィスワーク	イベント・キャンペーン	ホテル	専門職(介護)	専門職(保育)	専門職(介護、保育以外)	接客	エンタメ	その他
タイミングを通じて長期就業する前の お仕事(単一選択)	軽作業	91	5	11	19	1	1	6	0	0	1	9	0	3
	配達・運転	11	17	3	4	1	0	0	1	0	0	1	0	1
	販売	12	0	27	6	0	0	0	1	0	2	3	0	0
	飲食	9	4	6	73	0	2	6	1	1	0	10	0	8
	オフィスワーク	11	0	3	20	8	1	2	0	0	0	4	1	6
	イベント・キャンペーン	2	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	ホテル	1	0	2	6	0	1	11	1	0	1	2	0	2
	専門職(介護)	5	1	0	4	0	0	2	14	0	0	0	0	0
	専門職(保育)	0	0	1	5	0	0	3	0	12	0	0	0	1
	専門職(介護、保育以外)	5	1	4	13	1	3	3	2	4	5	0	1	0
	接客	9	2	19	21	0	0	3	1	0	0	33	0	1
	エンタメ	2	1	3	3	1	0	0	0	1	1	3	0	1
	その他	13	4	2	17	2	1	8	2	1	1	7	1	10

長期就業の決め手

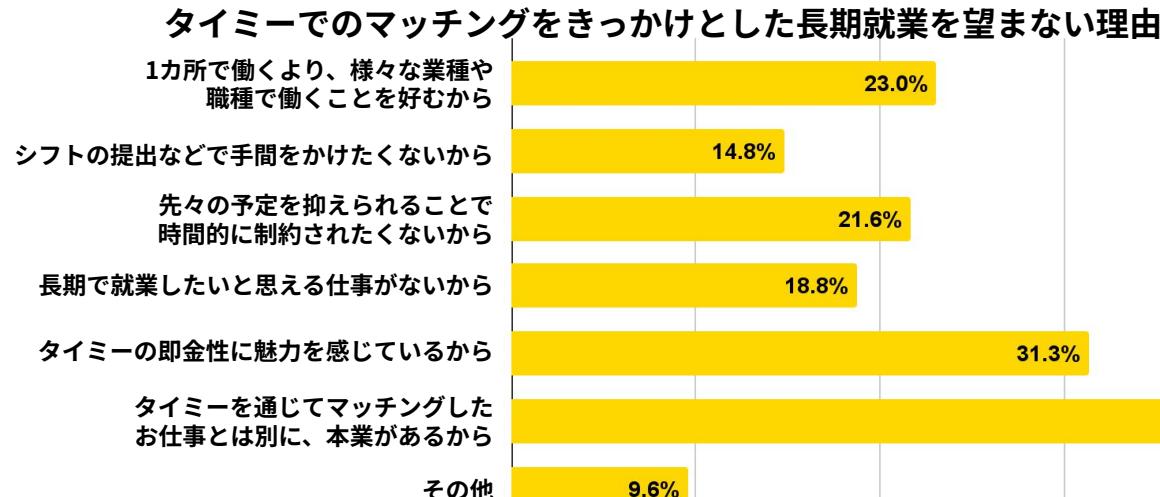
- 長期就業をした人にその決め手を聞くと「安定した収入が得られるから（23.0%）」が最も多く、次いで「長期就業先の従業員・人間関係に魅力を感じたから（16.4%）」という結果となった。
- 収入面はもちろん、スポットワークによって面接だけでは判明しづらい職場の人間関係や同僚の人柄を知ることができ、それらが長期就業のきっかけになっていることがわかった。

長期で就業することにした決め手



長期就業を望まない理由

- タイミーを通じた長期就業を望まない理由として「タイミングを通じてマッチングした仕事とは別に、本業があるから（48.4%）」が最も多く5割近くを占めた。事実、タイミングを利用するワーカーの属性として、正社員、パートアルバイト、契約/派遣社員が全体の約5割であることから、別に仕事があり、副業としてスポットワークを活用している層が一定割合いることがわかる。
- また、「タイミングの即金性に魅力を感じているから（31.3%）」や「1力所で働くより、さまざまな業種や職種で働くことを好むから（23.0%）」と、スポットワークという働き方に魅力を感じている人も一定いた。

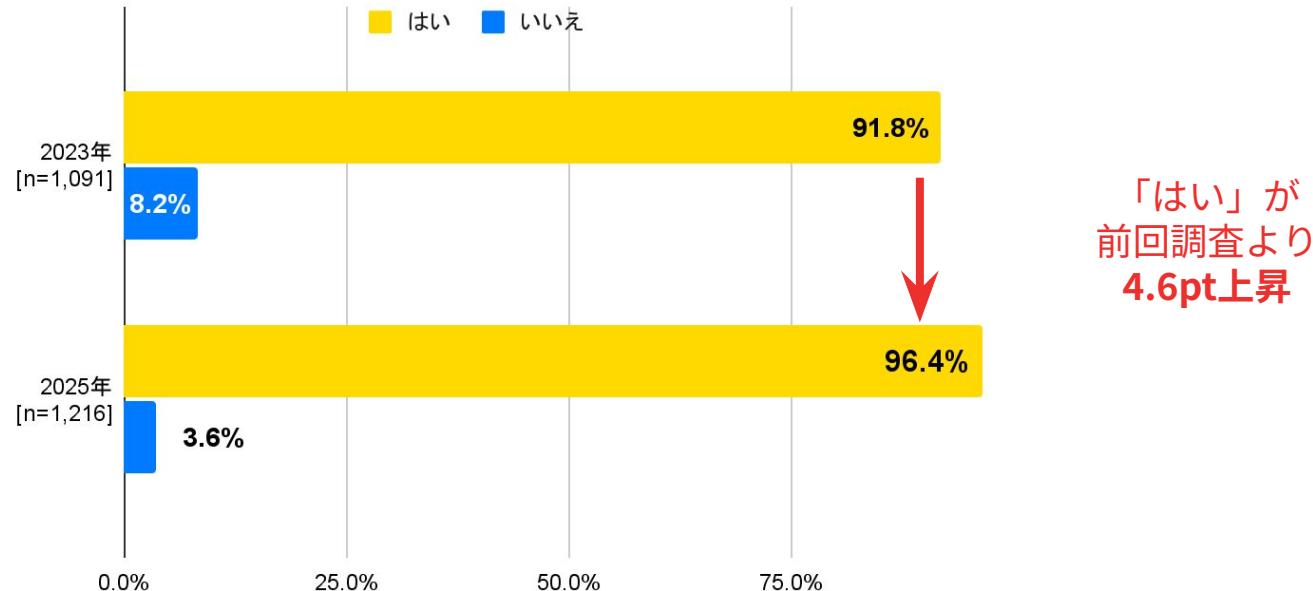


03 事業者向け調査

長期採用への期待

- タイミングを通して良い人材と出会えたら長期で採用したいと思っている事業者は96.4%で、前回調査の結果の91.8%よりも4.6pt増加した。

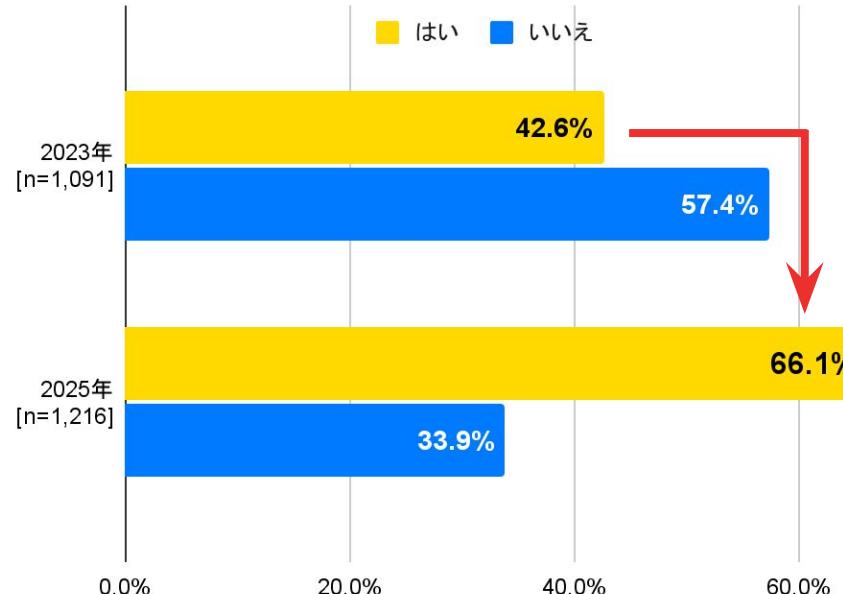
タイミングを通して良い人材と出会えたら、長期で採用したいと思ったことはありますか？



長期採用の実態

- タイミングを通じて働いたワーカーに対して、長期採用の打診をしたことがある事業者は66.1%で、前回調査の結果(42.6%)から23.5pt上昇した。実際、タイミングを採用活動のツールの一つとして利用している事業者は増えている。

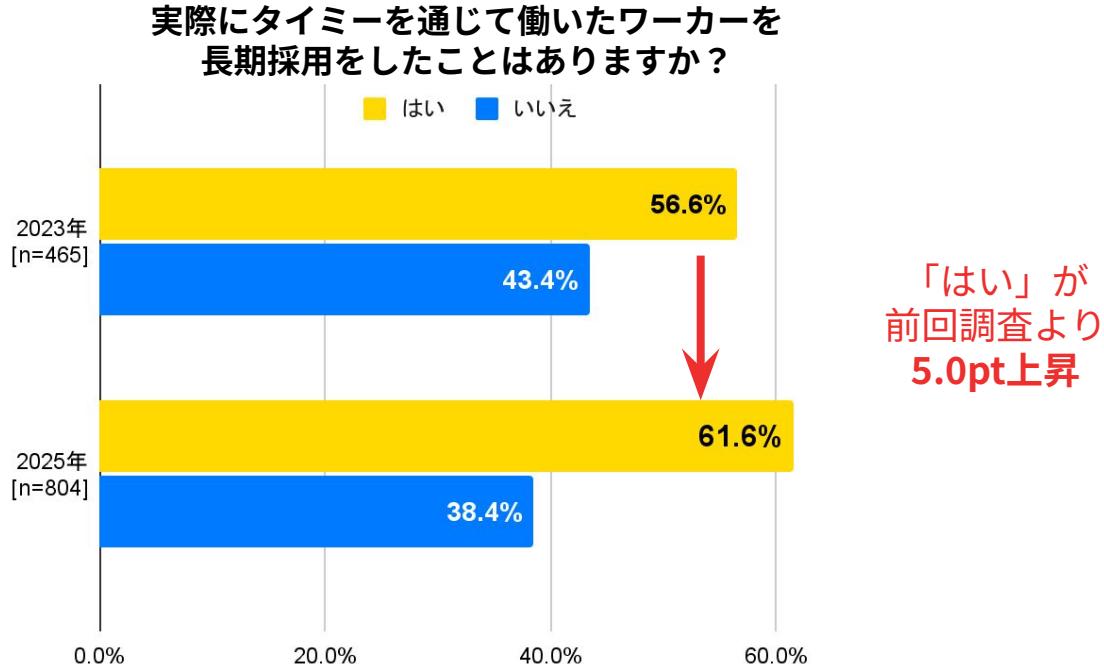
これまでに、タイミングを通じて働いたワーカーに対して
長期採用を打診したことはありますか？



「はい」が
前回調査より
23.5pt上昇

長期採用の実態

- 働き手に対して長期採用の打診をしたことがある事業者のうち、実際に長期採用ができた事業者は61.6%で、前回調査の結果（56.6%）よりも5.0pt上昇した。

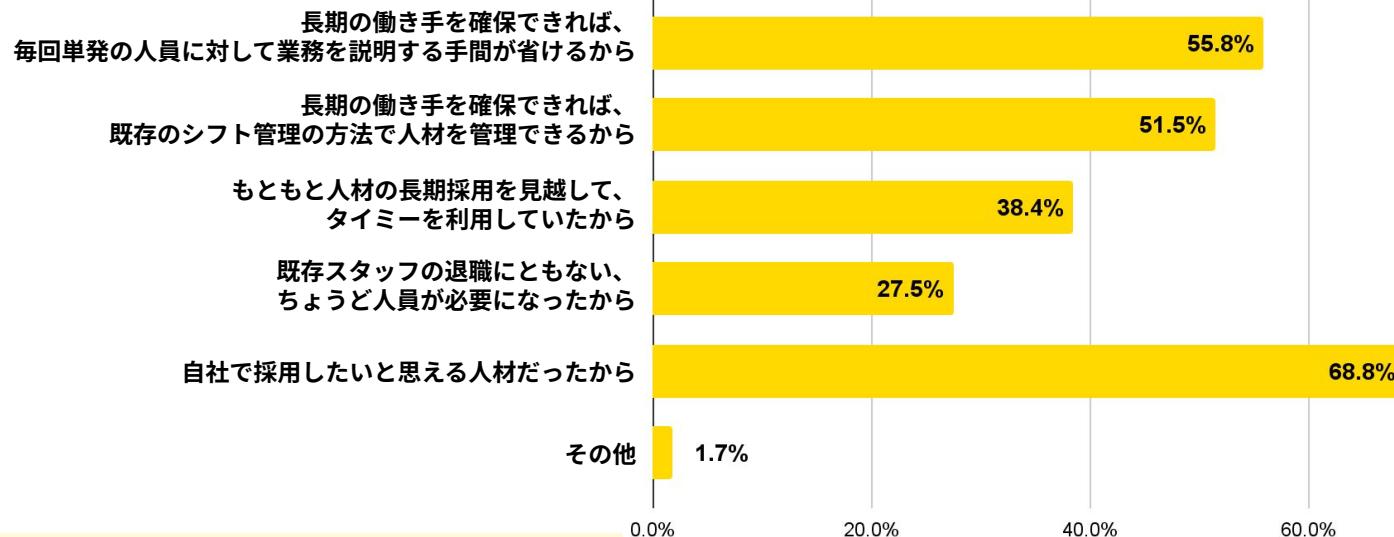


長期採用の実態

- タイミングを通じて、働きにきたワーカーに長期採用の打診をした理由を聞いたところ、「自社で採用したいと思える人材だったから」が68.8%と最大となり、働きぶりや人となりを確認した上で自社に合っている人材だと判断できて、採用に至ったことがわかる。

ワーカーに長期採用の打診をした理由

[n=804] ※複数回答

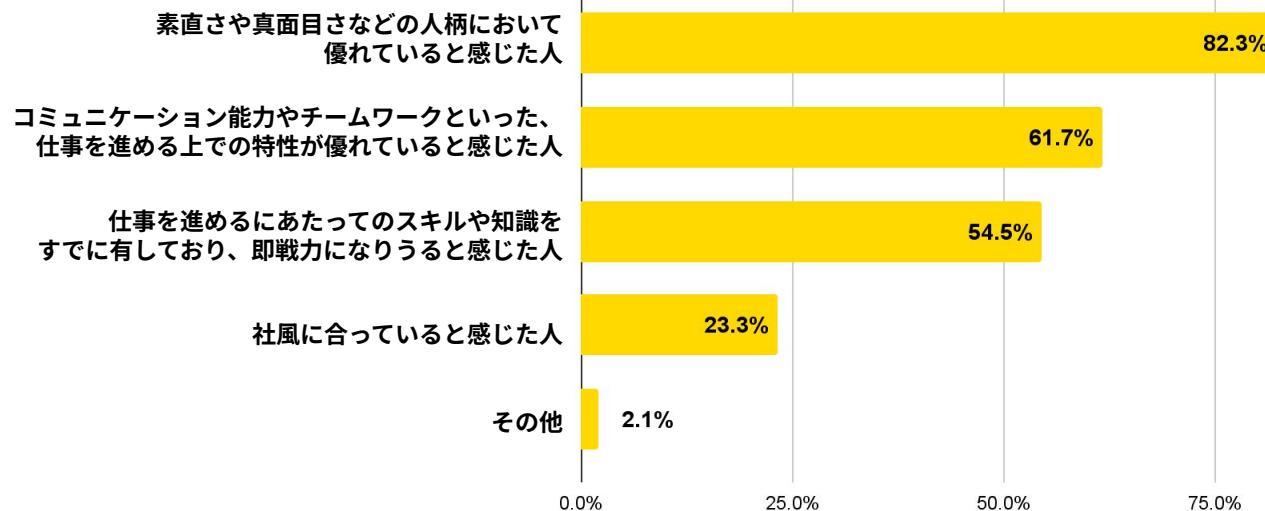


長期採用の実態

- 長期採用を打診したワーカーの特徴を聞いたところ、「素直さや真面目さなどの人柄において優れていると感じた人」が82.3%、「コミュニケーション能力やチームワークといった仕事を進める上での特性が優れていると感じた人」が61.7%となり、スキル以上に人柄や特性を重要視していることがわかった。
- 採用活動において、面接や履歴書ではわかりづらい候補者の人柄や資質を知ることができるという、スポットワークの利点が生かされているとも考えられる。

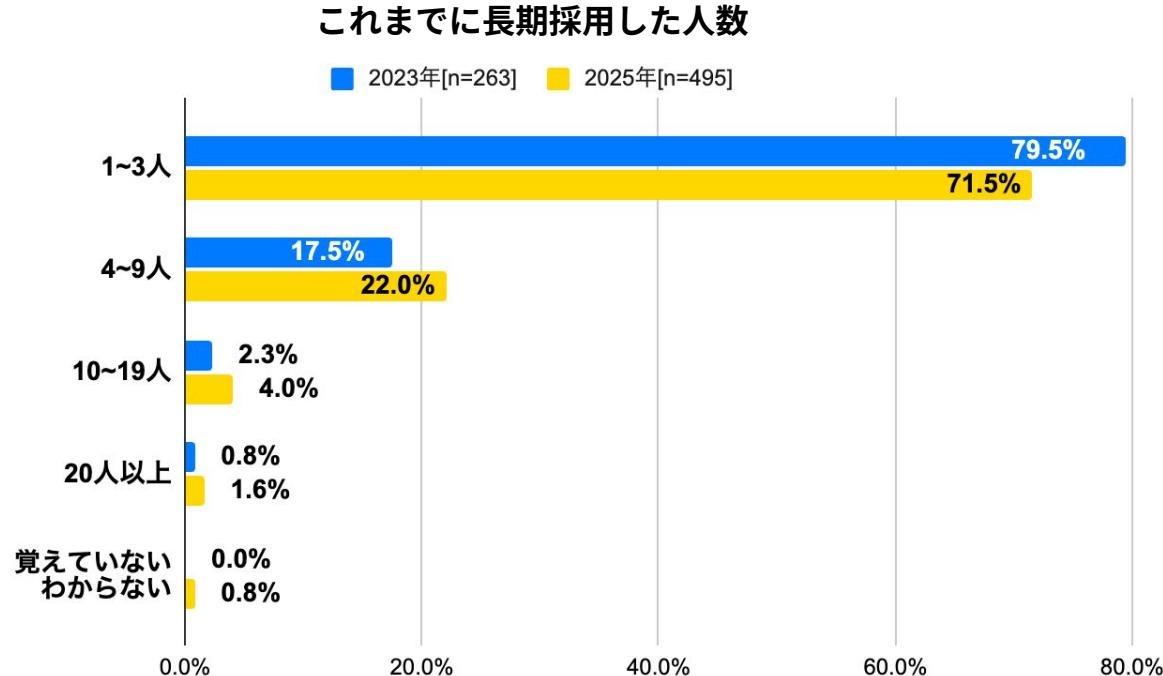
長期採用を打診したのは、どのようなワーカーでしたか？

[n=804] ※複数回答



長期採用の実態

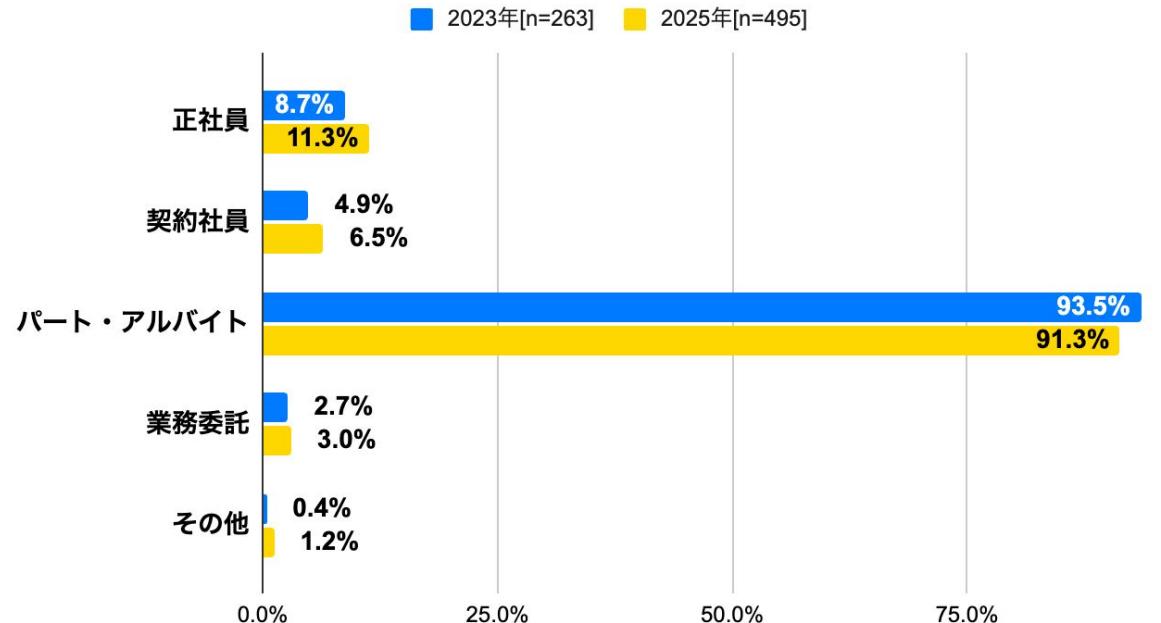
- これまでにタイミングを通じた勤務をきっかけとして長期採用した人数は「1~3人」が71.5%で最も多かった。
- 前回調査と比較すると1つの事業者で長期採用をする人数は増加傾向にある。



長期採用の実態

- 長期採用した際の雇用形態は、パート・アルバイトが9割以上で最も多かった。
- 正社員としての採用は11.3%で、前回調査の結果よりも2.6pt上回った。

これまでに長期採用した雇用形態

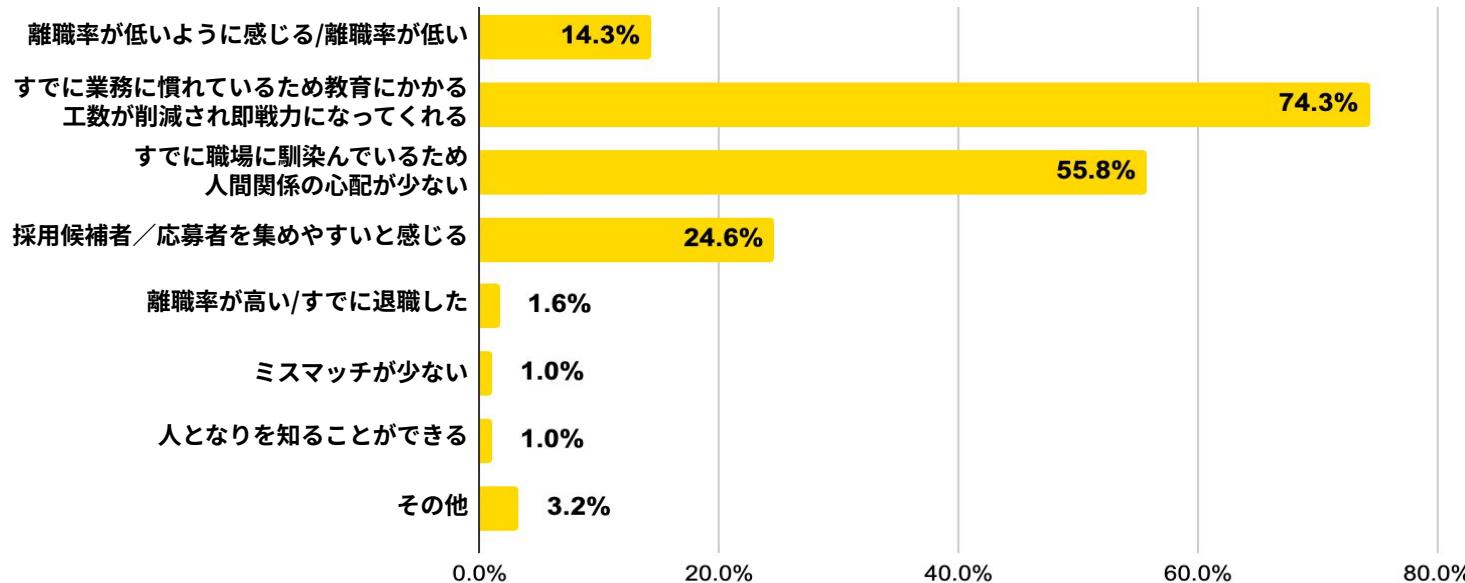


他の採用手法との比較

- 他の採用経路と比較した特色として「すでに業務に慣れているため教育にかかる工数が削減され即戦力になってくれる」(74.3%)が最も多く、次いで「すでに職場に馴染んでいるため人間関係の心配が少ない」(55.8%)となつた。スポットワークで職場を体験した上で、採用できるところに魅力を感じていることがわかる。

タイミングを通じて働いたワーカーの長期採用について、 他の採用経路と比較してどのような特色があると思いますか

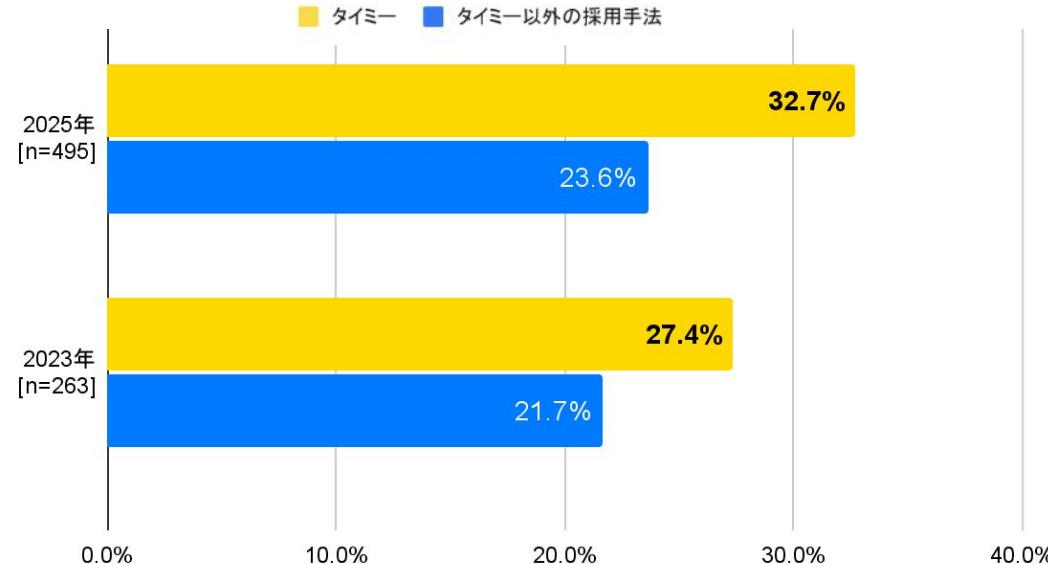
[n=495] ※複数回答



他の採用手法との比較

- 採用後半年以上勤続した人の割合を、「タイミー」「タイミー以外の採用方法」それぞれの採用経路に分けて質問したところ、採用後半年以上勤続した人の割合が90%以上だったと回答した事業者の割合は、「タイミー」が「タイミー以外の採用手法」を上回った。

採用後、半年以上勤続した人の割合が90%以上と回答した事業者の割合



まとめ

本調査から、スポットワークが「長期雇用」の有効なチャネルとして定着しつつある実態が明らかになった。働き手の7割以上が「良い職場なら長く働きたい」と望み、特に面接では分かりにくい「職場の雰囲気や人間関係」を体験できる点を重視している。一方、事業者側も96%が長期採用に意欲的で、採用打診や成功率も前回調査から大幅に向上。スキル以上に「人柄」や「適性」を重視し、実際の働きぶりで見極められる点を評価していることがわかった。

働き手が職場を体験し、事業者が人柄を実務で確認できる双方のニーズが合致することで、**採用後のミスマッチが効果的に防止される**上、「教育工数の削減」や「人間関係の安心感」から、高い定着率にもつながっている。

スポットワークという働き方は、**働き手と事業者のミスマッチを防ぐ新たな採用手段**としてその役割を拡大させていると言えるだろう。